

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ハウス藤沢	階数	地上15F
建設地	藤沢市藤沢1003番1の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	350 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2024年4月15日
敷地面積	1,518 m ²	作成者	ファーストコーポレーション(株)三輪設計東京本社
建築面積	632 m ²	確認日	2024年4月15日
延床面積	7,641 m ²	確認者	ファーストコーポレーション(株)三輪設計東京本社



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE=1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	<p>ス性能</p> <p>Q1 室内環境 Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>藤沢駅から徒歩6分の商業地域に、住宅単一用途の共同住宅を15F・RC造にて計画した。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級等級4を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>0</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>広告物照明なし。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される